

歯つらつ

2016年1月
238号

発行所
齋藤歯科診療所
由利本荘市美倉町 47-1
TEL 0120-24-4182
www.saitoshika.net

～診療時間～
曜日：月曜～土曜
時間：午前 9:00～1:00
午後 2:00～6:00
～休診日～
日曜・祝日
第2・4木曜日



齋藤歯科診療所院内新聞「歯つらつ」をご愛読の皆様、あけましておめでとございます。院長の斉藤です。

「歯つらつ」も今年で21年目となり、発刊以来今号で238号を迎えることができました。おそらくどの企業においても一つの企画が20年以上に渡って継続されることは、あまりないことではないでしょうか？

これもひとえに読者の皆様からのご愛顧によるもので、心から御礼申し上げます。

今後も当院と読者の方々をつなぐパイプ役として、また歯科関係のさまざまな情報を発信させていただき、更なる継続と発展を目指してまいります。

私が新年のご挨拶を書かせていただくようになり、今年で7回目になります。そこで過去数年の原稿を振り返ってみますと、大に小に様々な変化があったのだと驚かされます。

世間を見渡しますと世界各地でテロが起り、日本人にも犠牲者が出てしまいました。

また、日本のみならず海外でも地震・津波や熱波などの異常気象が報じられることが多い年

新年のご挨拶 明けまして おめでとうございます



だったように思われます。国内でも私達の仕事に直接関係しそうな話題として、マイナンバー制度がスタートしました。ニュースや説明書を見たり講習会に参加したりしましたが、まだ内容を理解しきれていません。我が身の不明といえますが、保険証機能も付与するということですので、注視しなくてはなりません。

自分の周囲を見ますと、当院においてもさまざまな事があった一年でした。歯科衛生士の三浦睦子が12月に女の子を出産しました。私も四児の父ですが、生まれたばかりの小さな生命というものは何度見ても感動的なものだと思います。

おめでたいお話は他にもあります。当院の歯科医師の今泉政博と歯科衛生士の今泉恵が3月に結婚いたしました。

また、医事課の多田美妃が11月に結婚し佐々木姓となりました。きっと相手を思いやる良い家庭を築いてくれることと期待

しております。

◆ 診療に於いての話題には、一つには訪問診療があります。昨年同様、徐々にではありますが入院されている病院やご自宅、入居されている施設に伺う機会が増えてきました。

治療できる内容には制限がありますが、きちんと食べられるようになる病気になるに比べて、生活の質の改善や生きがいにも大きく寄与します。そう考えますと、国民の高齢化という日本の社会構造の変化に対応するため、歯科医師の果たす役割も変化し、かつ責任もますます重くなってくるのだと感じます。

むしろ歯や歯周病で歯質が減ったり、歯が抜けてしまったりした後に冠やブリッジを被せる、補綴治療についても変化がありました。

◆ 昨今、特に若い方の中には金属色に見える金属冠を被せることを敬遠する事例が多くなってきました。また、金属アレルギーのある患者さんには金属冠を被せる治療は行い難いこともあります。そこで、このたび冠やブリッジをすべて特殊セラミックで作成する装置を導入いたしました。

これによって、審美的な要望やアレルギーのある方への治療の幅を広げることが出来ます。

◆ ご興味のある方は、ぜひスタッフにお尋ねになってください。

もちろん先に挙げた事柄以外にも、従来から行われてきた歯科治療においてもレベルを下げるといふことなく、守るべきところは守り、改善すべきところは改善して信頼に堪えてまいります。至らぬ点もあろうかと存じますが、今年もご指導くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

院長 斉藤光博

講演会に参加して

12月5日に、本荘グラウンドホテルにて、由利本荘市歯科医師会が主催する講演会がありました。

東京歯科大学、口腔健康科学講座主任教授の福田謙一先生に「非歯原性歯痛の診断と治療」という演題で講演して頂きました。

非歯原性歯痛というと、耳慣れない言葉かも知れませんが、歯が痛いということで歯科を受診される方は多いですが、

休診のお知らせ

1月は、下記の通り
に休診致します。
30日(土)は研修会参加のため、午前中のみの診療で、午後から休診させて頂きます。
患者様にはご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願致します。

日	月	火	水	木	金	土	
	1月					1 休診	2 休診
3 休診	4 休診	5	6	7	8	9	
10 休診	11 休診	12	13	14 休診	15	16	
17 休診	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28 休診	29	30 午後 休診	
31							

その痛みの原因の大半が、むし歯等による歯の神経や歯周組織の炎症が原因となる痛みであり、これは歯原性歯痛と呼ばれます。

5. 心臓性歯痛
6. 精神疾患または心理社会的要因による歯痛
7. 突発性歯痛(非定型歯痛を含む)
8. その他様々な疾患による歯痛

非歯原性歯痛は、口腔顔面痛学会編「口腔顔面痛の診断と治療ガイドライン」によると、以下の8つに分類されます。

1. 筋・筋膜性歯痛
2. 神経障害性歯痛
3. 神経血管性歯痛
4. 上顎洞性歯痛



「歯が痛くて歯科に行ったら原因でない歯痛がある」ということを知らないのと、「歯が痛くて歯科に行ったら原因がなくても歯が痛いように感じる場合があることを知って頂いた方が良いでしょう。なぜなら、知識として「歯が原因でない歯痛がある」ということを知らないのと、「歯が痛くて歯科に行ったら原因がなくても歯が痛いように感じる場合があるからです。診査診断の重要性を改めて感じる講演会であり、尚且つ今後の臨床に役立つ充実した内容でした。今後とも勉強していきたいと思

— 今泉 —